



2年海洋科学科 集中実習

9月1日(木)～2日(金)及び8日(木)～9日(金)、1泊2日の日程で、2年海洋科学科の生徒が集中実習を行いました。実習船「みずなぎ(185トン)」に乗船し、底曳網漁業実習をはじめ、航海当直、海洋観測などに取り組みました。また、2日目には出荷作業の後、セリの見学を行い、水産物の流通についても学習しました。



網があがってきました



様々な魚が獲れました



魚種毎に選別します



魚体測定(パンチング)を行います



魚を並べて出荷の準備をします



活気あるセリを見学しました

実習の前後には、関連研究機関・企業の研究者の方から講義をしていただき、底曳網漁具の最先端の研究内容について学びました。

また、漁獲物の一部を利用して、魚類の検索や解剖、船上において行った魚体測定結果のデータ処理を行うなど、実りある実習になりました。



事前学習「底曳網漁業の技術開発について」
ニチモウ株式会社 木下 弘実 様



事後学習「底曳網の漁具構造について」
京都府農林水産技術センター・海洋センター
亀井 寿敏 様